

# アフターコロナの 人材確保力UP↑

株式会社バリュースタッフ

第5回



事業統括本部長  
西谷良造氏

## PROFILE

20歳からサービススタッフに従事し、ザ・リッツ・カールトン大阪などを経て、2003年、婚礼サービス受託のファインスタッフ、ファイン・プランニング（取締役を歴任）でベストブライダル、ディアーズブレインの50施設の開業を担当。2020年からバリュースタッフの求人プラットフォーム事業立上げ責任者に就任。

## 春の繁忙期対策!サービススタッフの人材確保

第5回は、3月から4月にかけて生じる【春の繁忙期対策!サービススタッフの人材確保】について取り上げます。

昨年秋から年末にかけて稼働が回復したかに思えたものの、2022年に入ると冬の閑散期に加え、まん延防止等重点措置の影響もあり、再び低調に。そういった状況下において繁忙期の3~5月を迎えるとあって、サービススタッフの人員不足が懸念されます。

従来の業界のアルバイト動向も、1、2月の閑散期に在籍者の2~3割が働く機会が少なくなり離職、学生が卒業や進級を迎える3、4月は1年で最も入れ替わりの激しい時期です。さらに、(株)マイナビの「大学生のアルバイト実態調査(2021年(株)マイナビ)」によると、アルバイトをする大学生の割合は62.2%と、前年比で8.9pt減少。求人数が減ったことに加え、対面の接客アルバイトを避ける傾向もあり、業界のアルバイト希望者はさらに減少。弊社でも、昨年秋の繁忙期の応募数は2019年同時期の5割程度でした。

昨年秋の繁忙期に採用、確保できたアルバイトスタッフの絶対数が少なく、卒業や閑散による離職を踏まえると、完全にコロナが落ち着いたとはいえないこの春は、例年以上の人員不足に陥る可能性も考えられます。従来の採用スタイルだけでは、人材確保は

難しいことが予想され、『+aの施策』が必要になります。

+a 施策の提案は2点。①『オペレーションの変更』…少人数でも対応可能なオペレーションを検討すること、②『新たな人材供給先の確保』…フリーランスやギグワーカーや副業人材といった新たな層に対するアプローチです。

2021年10月時点でフリーランス人口は1577万人(ランサーズ調べ)、うち接客サービス業界に従事する人は28%と3割近くを占めます。フリーランスやギグワーカー・副業人材は、休みの日やスキマ時間などを活用し、1日単位で仕事を探す傾向があり、募集を行う側にも採用や勤務開始までの『迅速性』が求められます。スマホで応募から採用までをワンストップで行える専用のアプリや求人サイトを利用して仕事を探します。従来の採用手法だけでなく、「新たな働き手の層に対する、新たな求人募集手段」を取り入れ、人材確保につなげましょう。

ホテル・ブライダルに特化したバイト探しアプリ「バリプラ」では、1日単位で仕事を探すワーカー、業界経験者も多数在籍。求人掲載無料で依頼から最短3日後に求人掲載可能なので、急な欠員など人材不足時の補完として活用できるほか、給与も最短翌日に支払われ、煩雑な労務管理もシステム内で完結します。